

# システムアップに応じて音声を楽しむには

## ビデオ入力の音声入力レベルを調整する

DVDプレーヤーなどの機器を接続した場合は、必ず下記の設定を行ってください。

VTR (VTR1/VTR2) の  
音声入力レベルを設定する

調整範囲：- 18 dB ~ 0 dB

ビデオ入力の音声入力レベルが過大な場合、  
適正な音声が出力されなくなります。  
「OVER」の表示が出ないように音声入力  
レベルを調整してください。

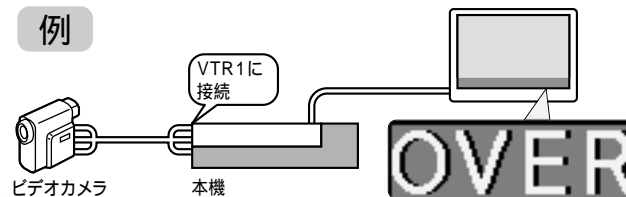
デジタル入力された音声の  
出力モード (VTR1/VTR2) を  
設定する

お好みのモードを選択します。

- OFF : デジタル音声入力しない
- VTR1 : VTR1に接続した場合
- VTR2 : VTR2に接続した場合

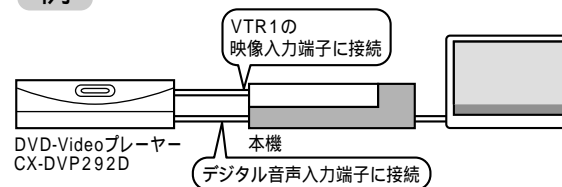
必ずRCAコード (映像用) を接続した端子に  
合わせて設定してください。

例



左図のように接続し、VTR1に切り  
替えたときに、画面上に「OVER」  
と表示され、音声が割れる場合には、  
「OVER」の表示が消えるまで音声  
入力レベルを下げると、適正な音声  
が出力されます。

例



左図のように接続した場合には、  
「VTR1」に設定します。

## 音質を調整する

ドルビーデジタルのDVDビデオ再生中に、セリフなどの小さい音を聞きやすくしたり、アナログ音声の音質 (周波数帯域ごとの出力レベル) をお好みで調整するとき設定します。

小音量で聞くときに臨場感を維持する  
(ダイナミックレンジ圧縮：DR COMP)

ドルビーデジタル/ドルビーサラウンドの  
DVDビデオ再生時のみ有効

ダイナミックレンジコンプレッション設定

- OFF : 圧縮しない、映画館そのままのモード
- STD : ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード
- MIN : 最も圧縮した、テレビ放送などに近いモード

ダイナミックレンジコンプレッションレベル調整  
(ダイナミックレンジコンプレッションが「STD」時のみ)  
高音域または低音域の圧縮率を調整してください。  
高音域の圧縮率 (H CUT)  
低音域の圧縮率 (L BOOST)  
(調整範囲：0.0 ~ 1.0)  
0.0は「OFF」と同じ

周波数ごとにレベルを調整する  
(グラフィックイコライザー)

アナログ音声 (TV、VTR1、VTR2、ラジオ、  
CH-C) または2チャンネルの音声 (リニアPCM、  
ドルビーデジタル2 chなど) に対して有効

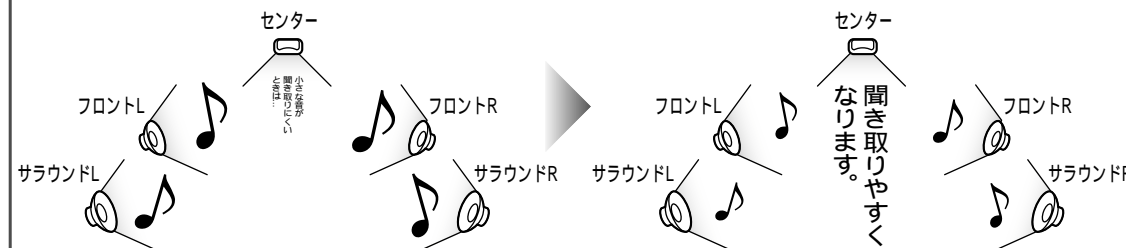
各周波数帯域 (7バンド) のレベルを調整します。

調整範囲：- 12 dB ~ + 12 dB

最大6パターンまで記憶させることが  
できます。(プリセットメモリ)

小さな音 (映画のセリフなど) が聞き取り  
にくいときは...

「MIN」に設定すると、聞き取りやすくな  
ります。



出荷時は、すべての音域が中程度のレベルで  
設定されていますが...

低音域を強調し、高音域を抑える場合は、  
下記のように設定します。

